Vol.67　テクニカルプレイことはじめ　～その 2～

『10 分トレ』vol.67、始めていきましょう。

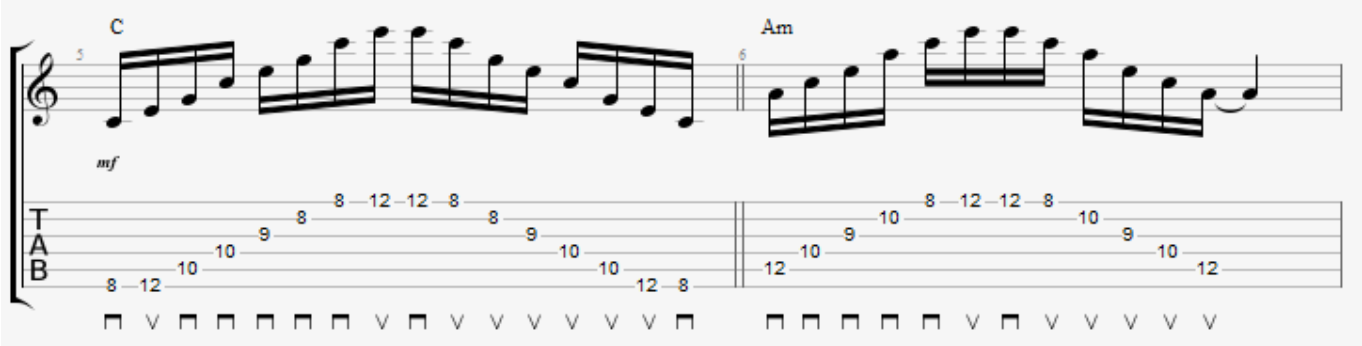
さて、代表的なテクニカルプレイに触れておこう、と言う事で、第 2 回はスウィープ・ピッキングについてやっていきます。

スウィープと同じ様な扱いのテクニックとして、エコノミー・ピッキングがありますが、大元の動作自体は同じものですね。

スウィープもエコノミーも、結局は、隣り合った弦に移る時に、前のピッキングの動作を継続する、と言うだけの話です。

では、まず最初に、良くあるスウィープのパターンを一つ弾いてみましょう。

譜例 1、スウィープのよくある動き



恐らく、この手のフレーズは、ほぼ全ての人が一度は弾いてみたことがあるはずです。ピッキングのパターンも、この辺りを基本に様々なものがありますね。

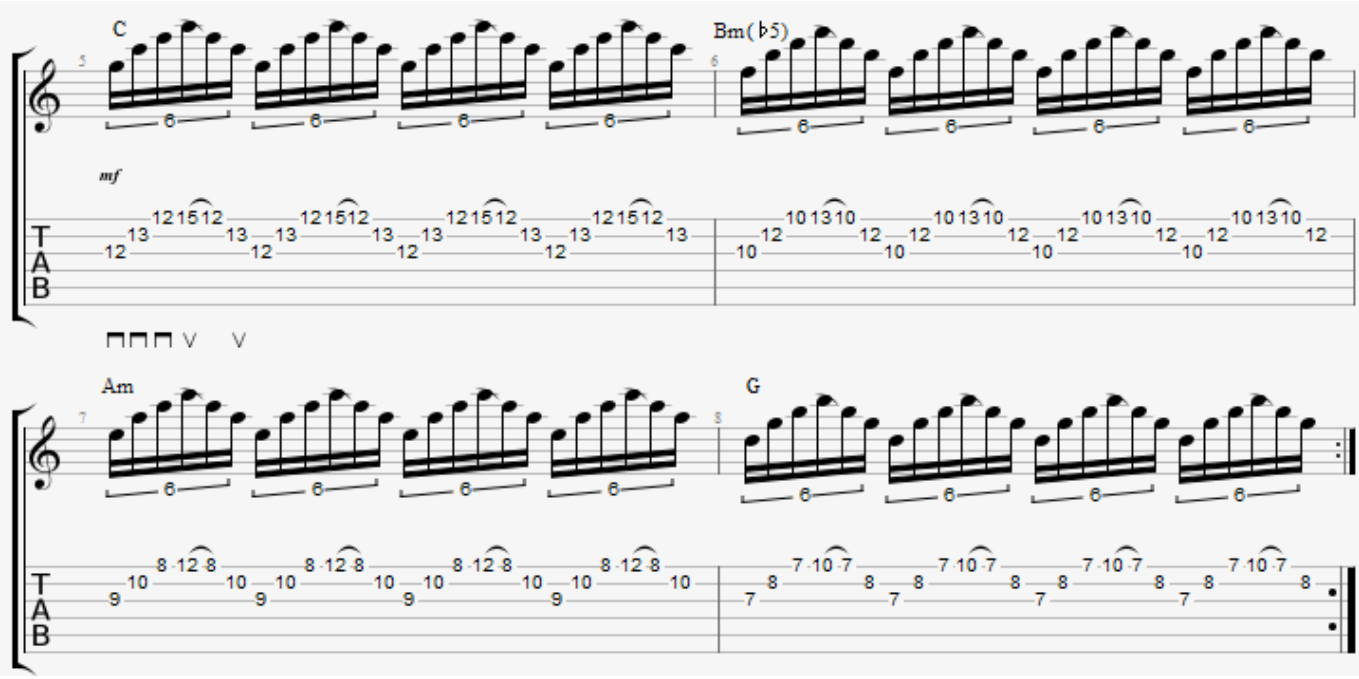
続いて、どちらかと言えば今回はこちらがメインなのですが、3 本弦のパターンを弾いてみましょう。

譜例 1 の様に、一度に大きく動くパターンをいきなりやるよりも、先に小さい範囲でスウィープ or エコノミーの動作を繰り返すトレーニングをした方が、動作に慣れやすい気がします。(※と言うか、僕は最初そうやっていたのですが)

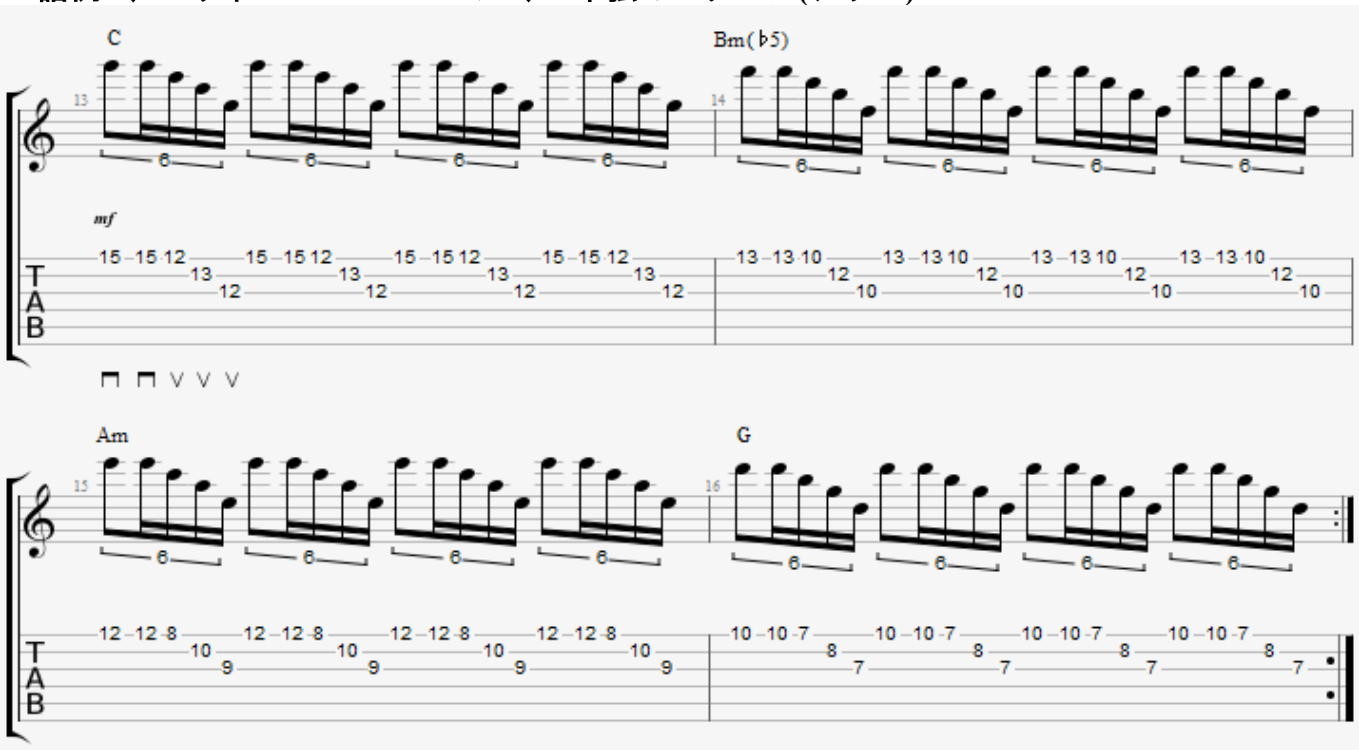
では譜例は以下になります。

譜例 2、スウィープ or エコノミー、3 本弦のパターン(ダウン)

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



譜例 3、スウィープ or エコノミー、3 本弦のパターン(アップ)



譜例 2 はダウンのみ、譜例 3 はアップのみのパターンになっています。

テンポは無理なく弾けるものに設定し、ピッキングがダウン→ダウン or アップ→アップと続く感覚を身に付けましょう。

後は、各小節で指定のコードのアルペジオを弾いているので、構成音やアルペジオのポジション(元の形)から、どの部分を抜き出しているのか？も、確認してみて下さい。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved